

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あおきの里

## 目標達成計画書

作成日: 平成 24 年 11 月 02 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	利用者の重度化が進む中で、利用者一人ひとりの介護量が増加し、職員の仕事も大変であるが、特技を活かした取組みと、チームワークを活用した、全員介護で、利用者の重度化にそなえていく。	職員の経験や、習熟度に合わせて外部研修を交代で、受講し、報告会を兼ねた内部研修会で、職員全員に理解してもらい、知識を共有し、職員一人ひとりの介護技術が向上し、チーム介護で利用者の、重度化に取り組んでいく。	12ヶ月
2	37	災害対策	消防署の協力と指導で、年2回夜間想定避難訓練を実施しているが、非常災害時には、想定外のことが起こることを念頭に、冷静沈着に行動できるように、自主防災組織を活用した、訓練も実施していく。	現在2階の利用者の7名が、車椅子使用のため、夜間の非常時の救助体制のマニュアルを作成し、ホームの近くに住んでいる職員による、救助体制の確認と、近隣住民の協力体制の確立を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。